

彫刻の森美術館 News

2015.4 - 2016.3
展覧会・イベントスケジュール



展覧会カレンダー

	本館ギャラリー	緑陰ギャラリー	マルチホール
2015年4月	松本秋則 オトノフウケイ 3月21日(土・祝)～ 8月30日(日)	絵画へ ～コレクションより～ 3月21日(土・祝)～ 7月5日(日)	近代彫刻にみる革新 ～コレクションより～ 5月23日(土)～ What's Sculpture? 彫刻って何だろう? 5月23日(土)～
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月	浅井裕介展(仮) 9月19日(土)～ 2016年2月28日(日)	鋤田正義写真展 ・フラッシュバック 7月18日(土)～ 11月8日(日)	
11月			
12月			
2016年1月		笹口悦民写真展(仮) 11月21日(土)～ 2016年2月14日(日)	
2月			
3月			

アートホール



ファミリーが楽しめる「じくザグ きんかく ワールド」が2014年12月にオープン。子どもたちが遊びながらアートを発見できる〈彫刻的空間〉です。

設計: SUPPOSE DESIGN OFFICE 谷尻 誠・吉田 愛



彫刻の森美術館
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121
TEL.0460-82-1161 www.hakone-oam.or.jp

松本秋則 オトノフウケイ



《Sound Theater》 撮影：佐々木敬晴

3月21日(土・祝)～8月30日(日)

松本秋則(1951～)は、竹を主な素材に用いて組み上げ、音の出るサウンド・オブジェを制作している作家です。本展は、素朴で愉快的音楽を楽しめる《Sound Forest》と《Sound Garden》、巨大なスクリーンにオブジェを投影し、音と映像が織りなす優しく心地よい風景を体感できる《Sound Theater》という3つのインスタレーションにより構成されます。会場を巡り、様々に変化する音と光が繰り広げる一期一会の世界をお楽しみください。

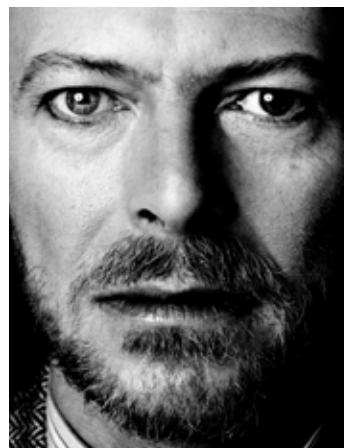
関連イベント

「誰でもミュージシャン」

日時：5月3日(日)～5日(火・祝) 12:00～14:00
8月14日(金)～16日(日) 11:00～13:00
場所：彫刻の森美術館 本館ギャラリー テラス
講師：松本秋則さん
松本さんと一緒に不思議な楽器を演奏して、「ミュージシャン」になってみませんか？



鋤田正義写真展・フラッシュバック



©Masayoshi Sukita

7月18日(土)～11月8日(日)

鋤田正義(1938～)は、デヴィッド・ボウイやT.REX、YMOや布袋寅泰ら国籍を超えてミュージシャンから圧倒的な支持を受けているのをはじめ、広告写真、テレビコマーシャル、映像作品など幅広いフィールドで常に第一線で活躍し続けている写真家です。70年代から現在に至るまで深い信頼で結ばれているデヴィッド・ボウイが冷戦下のベルリンで録音した名盤『LOW』に収録された「SOUND & VISION」をタイトルに冠した展覧会は、2012年夏の東京都写真美術館を皮切りに福岡、大阪、舞鶴と巡回、人気をさらに拡大し、存在感を確固たるものにしました。今回の展覧会では、鋤田正義の記憶と心象風景が観る者の感性を飛翔させてくれます。

略歴



鋤田正義 (すきた・まさよし)

1938年福岡県直方市生まれ。ドキュメンタリーから広告、映画、音楽まで幅広く活動。APA、ADCなど受賞多数。代表的な写真集にボウイ「氣」、『Speed of Life』、『T.REX 1972』、『YMO x SUKITA』、忌野清志郎「Soul」等がある。また、近年ではロンドンのV&A Museum主催の展示会「David Bowie is」への参加や、英、仏、伊、等で写真展を開催。

本館ギャラリー

浅井裕介展(仮)

9月19日(土)～
2016年2月28日(日)

浅井裕介(1981～)は、身の周りのものを素材として絵を描く作家です。制作地で採取した土と水で描く『泥絵』など、原初的で神話のようなイメージをダイナミックに表現しています。本展は、精力的に制作を続けている浅井の作り出す世界を体感できる、またとない機会となります。



《yamatane》2014年 ライスギャラリー(ヒューストン、アメリカ)



撮影:三村健二

浅井裕介(あさい・ゆうすけ)

1981年 東京都生まれ
1999年 神奈川県立上矢部高等学校美術陶芸コース卒業
個展、グループ展、プロジェクト、ワークショップなど日本各地で開催

【受賞歴】

2009年 VOCA2009展/大原美術館賞
2012年 第5回東山魁夷記念 日経日本画大賞/入選
【パブリック・コレクション】
大原美術館、福岡アジア美術館、東京都現代美術館、熊本市現代美術館

緑陰ギャラリー



©Yoshihito Sasaguchi

笹口悦民写真展(仮)

11月21日(土)～
2016年2月14日(日)

笹口悦民(1970～)は、ドラマティックなライティング、シャープに被写体を切り取るスタイルで幅広い分野において第一線で活躍する写真家です。本展は、風景、ポートレートやドキュメンタリーなど様々な角度から写真家の鋭い目線によって撮影された作品によって構成されています。

笹口悦民(ささぐち・よしひと)

1970年生まれ、北海道出身の写真家。法政大学経済学部在学中にブルータス編集部にてアシスタント、その後写真家安倍英知氏に師事、以後フリーランスで活動。パルコミュージアム、海岸通ギャラリー、Le Decoなどで展覧会。攻殻機動隊ARISE border:less project[FORESEEING 2027]監督。



緑陰ギャラリー

絵画へ ～コレクションより～

3月21日(土・祝)～7月5日(日)



ロバート・マザウエル《絵画へNo.2》

絵画は、見るものに夢や幻、やすらぎなどさまざまなものを想起させます。時には、物事の本質を鋭く突いてくる作品もあります。ゆつくり時間をかけて作品と向き合ってみてください。

マルチホール

近代彫刻にみる革新 ～コレクションより～

5月23日(土)～

ウンベルト・ボッチオーニ《空間の中の一つの連続する形》、コンスタンティン・ブランクーシ《接吻》、アルベルト・ジャコメッティ《腕のない細い女》、メダルド・ロツソ《病院の病める男》など近代彫刻のコレクションより13点を展示します。



ウンベルト・ボッチオーニ
《空間の中の一つの連続する形》

マルチホール

What's Sculpture? 彫刻って何だろう?

5月23日(土)～

木で彫ったもの、金属でできたもの、人の形をしたもの、何の形かわからないもの、怖そうなもの、楽しそうなもの。これらは全て、彫刻家が作ったもの。美術館にあるさまざまな彫刻を楽しくわかりやすく紹介します。『彫刻って何だろう?』の答えがきっと見つかるはずです。



本郷新《哭》



アレクサンダー・カルダー
《赤いペナントー吊るモビール》



アンソニー・カロ《モロッコ人たち》